

→表面から

また、給食費の未納対策として、支払う能力があるにもかかわらず給食費未納を続けるような悪質なケースの場合には、学校長と教育長が連名で督促を行なうなどの取り組みを行っています。

- ④ 給食の安全安心な食材供給の状況と、調理の外部民間業者への委託の現状と今後の予定（自校はいつ民間になるか）を教えてください。

（回答 健康教育課）

給食に使用する食材については、（公財）熊本市学校給食会において、PTA代表の方や校長、栄養教諭等で構成する委員会で安全性等を確認のうえ選定しています。また、地産地消にも取り組んでおり、平成 26 年度は使用した農産物の約 50%を市産品でまかなっております。小学校の民間委託については、食数 550 食以上で栄養教諭等が配置されている学校を対象に委託を進めてまいります。現時点では 32 校あり、基本的には食数の多い学校から各区のバランスや、各学校の状況を考慮して、毎年数校ずつ委託していくこととしております。

- ⑤ 食育については、特に「自分で作って食べること」も大切だと思います。その重要性を考える取り組み等あれば、教えてください。

（回答 健康教育課）

学校給食に関しては、学校において、自分たちで栽培して収穫した野菜等を給食で食べることで、食べ物への感謝の気持ちを育むといった取り組みを行っています。また、食育の一環として「熊本市わくわく給食作品展」を実施しており、給食への思いを表した作文や図画・ポスター、毛筆書写及び児童生徒が考えた給食献立の作品を募集しています。

その中で給食献立は、保護者と一緒になって創作された作品の応募があり、優秀な作品については、実際に給食の献立として児童生徒に提供しています。

- ⑥ 県教委では小学校運動部活動が社会体育に移行すると聞きました。本市の今後の方向性、計画をお聞かせください。

（回答 健康教育課）

平成 26 年度に設置した「熊本市子どもの体づくり推進委員会運動部活動のあり方部会」において、現在の小学校運動部活動が社会体育の活動も行っているという実態があることから、運動部活動の学校教育活動としての意義や役割をあらためて明確化するとの方向性が取りまとめられました。

今後、運動部活動や社会体育の関係者による議論を深め、意見を集約し、熊本市教育委員会としての方針を決めていくこととしています。



- ⑦ 新しく部活の立ち上げを希望する場合、どのような手順を踏めばよいでしょうか。

（回答 健康教育課）

希望理由等を学校へ相談ください。学校において、人数や指導者の要件、部活の持続性、練習場所等、様々な項目について検討し、新しい部活動を立ち上げることができるかを回答します。

- ⑧ 熊本市・県で、体力向上に関する取り組みがあると聞きましたが、その後の変化や結果について教えてください。

（回答 健康教育課）

本市では、平成 26 年度から 3 年間「熊本市子どもの体づくり推進委員会」を設置し、体力向上推進実証校の取組の成果を踏まえ、新たな体力向上のプログラムを作成する予定としています。

- ⑨ 団体競技を通して、協力・思いやり等の心情を育てる指導をぜひお願いしたい。

（回答 健康教育課）

本市では、小・中学校の運動部活動の指針（平成 21 年 4 月）に基づいて活動されており、その中の指導方針において「精神的発達を図り、望ましい社会的態度の育成」を示し、上記の心情も含み、その育成に努めているところです。

- ⑩ 健康づくりには、規則正しい生活とバランスのとれた食事が基本ですので、継続して推進してほしいと思います。

（回答 健康教育課）

保健など教科の時間に加え、特別活動や身体計測などの機会をとらえて規則正しい生活とバランスのとれた食事について指導を行っているところであり、今後も引き続き取り組んで参ります。

- ⑪ 健康・体力作りに向け、運動場走りやウォーキング・深呼吸、さらにはトランポリンなどの導入はいかがでしょうか

（回答 健康教育課）

始業前及び業間体育等の運動場のランニングは、多くの小学校等で取り組まれています。トランポリンについてはバランス感覚等を高める上で有効ですが、購入費及び安全面の確保等について課題があるものと考えます。

- ⑫ 夏場は上靴や靴下履きせず、素足での生活（校内・運動場）が健康によいと思いますが。

（回答 健康教育課）

素足で活動中に、児童生徒が足の指をぶついたり、危険物で足を切ったりといった怪我をする可能性もあり、安全面の確保から実施は難しいと考えます。→次号へ

